

あつし塾長の

# 子のやる気 親の気づき

〇〇60



私たちの地域では、例年6月の第1週に高総体、第3週に中総体が行われます。今年も青森県南地方の中総体まで1週間となりまして、日も長くなり、子どもたちは汗と泥にまみれ、疲れもピークのはずです。

「学校から帰ってき

## やり抜く力

たら頭が痛い、でも塾には行きたいと言います。明日は練習試合なので大事をとって休ませ、試合に専念させたいのですが…」と先日、中3男子のお母様から電話がありました。私は「教室ではすぐく頑張っていますよ。勉強も部活も負けないのですね」と塾での様子を伝えました。結局、この男子は数日離れた自宅から自転車ですいものように

# 自律的な心の満足必要

登塾しました。

確かに「無理をさせてはかわいそうだ」という子育てもあります。しかし、子どもの勉強と部活は、どちらかではなく、どちらも頑張るようにさせてあげれば、結構、元気に「やり抜く」ものだと思います。

一昨年の冬に高2の男子が入塾しました。面談でお母様は「この子は家で勉強をしません。DVD、ゲームと欲しいものはほとんど買ってあげています。でも『やる気』を見せません」と話しました。母親の横に座

臨んできましたが、成績は改善されず…とぼそぼそと話ししました。私は「学年末テストの目標順位を決め、達成できたら高3の4月から部活に復帰。高総体までは勉強と部活の両立で、どうか…」と提案しました。

年が明けて4月、彼は約束通りサッカー部に復帰しました。日に日に引き締まる体つき。高総体当日、私は応援に行きました。しかし、チームが2試合、3試合と勝ち進む中、彼がピッチに立つことはありませんでした。高総体が終わり、私は塾の自習室で、別人のように集中して勉強

## 燃える目標と締め切りを

っていた本人は「入学以来、日々燃えるものもなく、いつの間にか順位も最下位に。この秋から部活を休部させられ居残りの勉強などに

に取り組む彼を目にするようになってきました。ある日「頑張っているね」と声を掛けました。彼は「このごろ、学校で授業のたびに先



by yoriko

だ」という心の満足が必要になってきます。子どもたち一人一人の燃える目標は異なります。その目標を見つけて、適度な負荷が掛かる「締め切り」を意識できたとき、子どもたちの努力は持続します。志学塾では一人一人の「やる気」を伸ばし、「やり抜く力」を育てたいと考えています。

長

NPO  
ワークは  
「海・川  
き、知事  
「第10回  
参加でき  
いる。  
聞き書  
が、林業  
き職人、  
など自然  
っている

## 教育

# 親も知らない。プロ



④

「パンツ何色?」。携帯電話話に突然男の声。ギョッと

号



ロフに載せるため、プリク  
で撮った写真に手を加える  
子高生=東京都内のショッ  
ングセンター



「第

## 「聞き書き甲子園」